

計画小委員会の検討状況について

下水道ビジョン2100に示された新たな下水道施策のコンセプトである「循環のみち」と、これを支える「水のみち」、「資源のみち」及び「施設再生」の3つの基本方針を踏まえつつ、現下の下水道が直面している課題を解消するため、平成18年2月以降、5回の審議を重ね、平成18年9月に、今後10年という中期の下水道政策のあり方と、施策ごとの目標と具体施策について、計画小委員会の中間報告がとりまとめられた。

計画小委員会では、この中間とりまとめに対して国民から広く意見を聴くため、インターネットによる意見募集を実施している。

また、国土交通省では、本中間とりまとめをもとに、下水道に関わる多くの方々に下水道政策のあり方や整備目標について議論いただくべく、10月から11月の間、本省や地方整備局ブロック毎に、市町村長や関係業界団体等と意見交換を実施するとともに、都道府県に対して、管内の市町村等と意見交換を行った上で、幅広く意見や提案を提出するよう要請しているところである。

さらに、日本下水道協会においても、会員である地方公共団体に対して、本中間とりまとめに関する意見募集を行い、意見の集約を行うこととしている。

これらの取組による国民、地方公共団体等の下水道に関係する多くの方々の意見を踏まえ、計画小委員会において更なる審議を行った上で、1月を目途に最終とりまとめを行う予定としている。

下水道政策研究委員会計画小委員会審議経過

平成 18 年 2 月 17 日 第 1 回小委員会

○中期の下水道施策について

3 月 13 日 第 2 回小委員会

○中期の下水道政策のあり方及び具体的な施策について

- ・ 公衆衛生の向上・生活環境の改善
- ・ 浸水の防除
- ・ 公共用水域の水質の改善

4 月 26 日 第 3 回小委員会

○中期の下水道政策のあり方及び具体的な施策について

- ・ 健全な水循環の再構築
- ・ 資源のみち
- ・ 下水道施設空間の活用
- ・ 事故の未然防止対策・下水道施設の資産管理

5 月 31 日 第 4 回小委員会

○中間取りまとめ案について

○各施策の中期のあり方と具体的な施策について

○下水道事業マネジメントのあり方について

6 月 27 日 第 5 回小委員会

○中間報告（案）について

下水道政策研究委員会計画小委員会委員名簿

平成18年9月現在

(50音順・敬称略)

- 委員長 花木 啓祐 東京大学大学院教授
- 委員 大久保尚武 積水化学工業株式会社社長
- 岸 由二 鶴見川流域ネットワーク代表、慶応大学教授
- 岸井 隆幸 日本大学教授
- 北野 大 明治大学教授
- 黒川 和美 法政大学教授
- 崎田 裕子 ジャーナリスト・NPO 法人持続可能な社会をつくる元気社理事長
- 櫻井 敬子 学習院大学教授
- 佐々木 弘 神戸大学名誉教授
- 篠田 昭 新潟市長
- 曾小川久貴 日本下水道事業団理事
- 田中 宏明 京都大学大学院教授
- 古米 弘明 東京大学大学院教授
- 前田 正博 東京都下水道局長
- 松田 陽三 読売新聞東京本社編集委員